

開催日時：平成 1 8 年 1 2 月 1 9 日（火） 16：00～18：00

開催場所：京都コンピュータ学院駅前校 新館 4 階

参加者：中川、馬場、土井、福本、徳増、藤関、猪飼、古川、事務局長：和田

配布資料：

新春セミナーと賀詞交歓会のご案内

11 月 28 日開催の議事録

## 議事

### 1. 新春セミナーの準備・役割に関して

- ・ 地域情報化委員会での役割としては何が存在するか事務局に尋ねたところ当日の講師が使われる機材及び司会進行役であった。
- ・ 司会に関しては土井氏を選任する。講師がプロジェクター等の機材利用に関しては講師に近日中に回答を戴き事務局に伝える事にする。(土井氏が担当)
- ・ 樽酒のセレモニーの問題有無及び持ち込み費用に関しては事務局に任す。
- ・ 平安会館で用意できる枺は「月桂冠」、招徳酒造側で用意可能かを確認する。
- ・ セミナーの参加者は少ない可能性があるので 2 名 / 社への呼びかけを事務局に依頼する。
- ・ 挨拶は長谷川会長、締め挨拶は家次副センター長にお願いすることに決める。

### 2. 次年度の地域情報化委員会の活動についての議論

次年度計画を事業推進委員会(12 月 13 日)に提示する必要があったので次年度委員長：中川氏、前年度委員長：馬場氏、古川の 3 者で協議し報告している。今日の例会で審議し最終確定する事が必要です。

#### 試作産業創出関連

- ・ 地域情報化委員会で情報を取得し、広報する段階は完了した。  
連絡会に出席しても義務(展示会出展、プレゼンしグループを P R 等)が求められる。
- ・ 18 年度でこの取組は完了し、個別企業の取組とするが 3 者協議の結果であると報告する。
- ・ 試作センターと京情協のお付き合いを考慮し、何処までやるのかの議論であり、地域情報化委員会としての役目は完了しているが多数意見である。
- ・ 両委員長が試作センターにグループとしての活動を終了する事を申し合わせる。

#### 地上デジタル放送公共アプリケーション

- ・ 地上デジタル放送の利活用は I T コンソーシアム京都の一部会として引き継がれている。  
3 者の協議では I T コンソーシアムの部会に出席し、広報する役目を行えばと提案する。
- ・ 協議の結果、部会に出席する。及び、責任を明確化するために部会とリーダーを割当てる。  
ネットワーク部会 徳増氏  
医療情報化部会 馬場氏  
地上デジタル放送活用部会 中川氏  
情報セキュリティ部会 猪飼氏
- ・ 部会に登録しておくので会議案内等は各自に届く事になる。

京情協の有様(他府県情報産業団体を参考に)

検討の結果、引続き地域情報化委員会の活動として了承される。

賀詞交歓の併設行事(セミナー担当)

検討の結果、引続き地域情報化委員会の活動として了承される。

その他(大学との連携)

3者の協議では19年度目玉として、リクルート活動の一環として大学との連携を提案する。

以下は議論内容

- ・売り手市場となると人材確保には各企業とも苦労されている。京都で勉強されている有用な人材を京都の活性化に利用する事は意味ある活動である。
- ・各大学へのPR活動(取組んでいる事業、人材育成をどのように考えているか、インターンシップ等)を地道に実施し地元企業への定着化を図る。
- ・全員の賛同を得る。

3. おおまかな予算(以下の予算を了承する)

- |                 |      |
|-----------------|------|
| ・産学交流会(リクルート活動) | 10万円 |
| ・新春セミナー開催       | 30万円 |
| ・委員会開催費         | 3万円  |

結果的には前年予算と同一の43万円となる。

以上